図書館へ行こう！ BOOKS

図書館ホームページ ▸

なぜ、働くのか

今月23日は勤労感謝の日。働き方や意味も人それぞれ。本を通して考えてみませんか。

『なぜ僕らは働くのか』

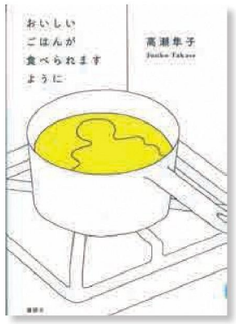
池上彰／Gakken



中学２年生の男子を主人公にしたマンガと図解で、これから生きていく中で考えるべきテーマである仕事、お金、幸せ、AI、多様性、働きがいなどを解説しながら、「働く意味」を見つめ直せるように考えられた１冊。

『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬隼子／講談社



同じ職場で働く１人の男性と２人の女性の人間関係を働くことに加えて、「食べること」に注目して描いた１冊。ほんわかしたタイトルが結末を知るとまた違う意味に感じるこの物語は、現代を生きる社会人をとりまく、どうにもならない空気感を表現しているようです。

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』

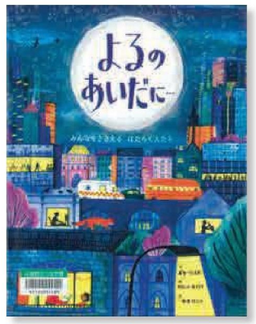
三宅香帆／集英社



このタイトルに共感する方も多いのでは？　著者は、明治から現代までのベストセラーや人気ジャンルの変遷といった読書に関する歴史を紐解いたうえで、現代特有の社会意識の課題を指摘。読書を切り口に、仕事と生活のバランスや、インターネット社会における働き方について考えさせられる１冊。

『よるのあいだに…』

ポリー・フェイバー 文
ハリエット・ホブデイ 絵　中井はるの 訳／BL 出版



働くのは昼間だけではありません。夜、皆さんが眠ってからも警察官や救命救急士、トラックの運転手やスーパーなどで多くの方が働いています。夜に働いている方たちの仕事に目を向けて、子ども目線のやさしい表現で追いかけた絵本。

今月の新着図書

一般書 ●『もう叱りたくないと思ったら読む本』フクチマミ／紀伊國屋書店　●『愛犬の困った！　解決図鑑』水越美奈／エクスナレッジ　●『少食さんの栄養のとり方』植木もも子／池田書店　●『作家・山崎豊子』山崎豊子／文藝春秋

児童書 ●『リリとネネのどんぐりパンケーキ』田島かおり／講談社　●『すごすぎる夜空の図鑑』藤井大地／KADOKAWA　●『海の中から地球を考える』武本匡弘／汐文社　●『ポッポーきかんしゃともだちさんぽ』とよたかずひこ／アリス館

クリスマスおはなし会の開催

ボランティアグループさんの読み聞かせの後には楽しい工作を用意していますので、ぜひご参加ください。



【本　　館】12月5日（土）
【加悦分室】12月12日（土）
【野田川分室】12月13日（日）
※ すべて午前10時30分～、申込不要

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451　加悦分室 ☎ 43-0376　野田川分室 ☎ 43-0087
● 開館時間／午前10時～午後６時　● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

がんばってます！消防団

編集 ● 第９分団

＼ 寒くなる季節 ／

火災に注意!!

～ 日ごろの心がけで火災を防ぎましょう ～

冬に向けてだんだん寒くなる時期。
暖房器具の使用など、火を取り扱う機会が増えます。
火災はちょっとした不注意が発生することがありますので、大切な命や財産を守るため、日ごろから火の取り扱いに十分注意しましょう。

1 暖房器具の近くに燃えやすい物を置かない

- ストーブの上や近くで衣類や布団などを乾かさない。
- 使用中はその場を離れないようにし、給油は必ず火を消してから行う。



2 モバイルバッテリーの充電は安全な場所で

- 布団やカーペットの上など、熱がこもりやすい場所で充電しない。
- 充電中は燃えやすい物から離し、異常な発熱・異臭がある場合は使用を中止する。



3 ろうそく・線香から目を離さない

- 転倒すると周囲の物に燃え移る危険があります。使用中はその場を離れず、離れるときは必ず火を消す。
- 安全のため、LED 電球などへの切り替えもおすすめです。



4 寝たばこは絶対にしない

- たばこは完全に消し、吸い殻は水などで確実に消してから処分する。
  ※ 疲れているときや飲酒後は、特に注意が必要

5 強風時の火の取り扱い

- 風の強いときは飛び火や燃え移りやすくなるため、たき火などを控える。
- 屋外で火を使うときは風の強さや乾燥状況を確認し、危険な場合は中止する。

6 調理時の油の取り扱い

- 油を使用しているときは、その場から離れない。
- 万が一、油に火がついても水をかけず消火器や鍋のふたなどで消火する。

7 ライターやマッチで遊ばせない

- 子どもの手の届きやすい場所に置かない。



8 たばこの投げ捨て

- 燃えやすい物に燃え移るなど、発火につながります。



9 ガスや灯油からの引火

- ガスの使用後は、元栓を必ず確認する。
  ※ ガスの臭いがするときは火をつけず、換気を行う
- 灯油の取り扱いに注意する。

